



令和5年9月2日（土）

第8回近世部会を開催しました

第8回近世部会では、資料編の粗原稿と附属するDVDの内容についての協議が行われました。『新編遠野市史 資料編 近世』（以下『資料編 近世』）は令和7年3月刊行予定であるため、現在執筆作業が佳境を迎えています。今回はそれぞれの進捗状況とその内容について各委員から報告があり、意見交換が行われました。

また『資料編 近世』には掲載しきれない史料を収録するため、DVDを附属させる予定です。今回はDVDに収録する内容についても協議し、史料の翻刻文のほか、掲載しても細部が見づらくなってしまいう絵図などを収録することを申し合わせました。

今後は、3月に開催予定の次回部会で掲載内容の最終調整を行い、印刷業者の決定などを経て、4月以降の入稿を目指します。その後約1年をかけて編集・校正作業を行っていきます。



▲会議の様子

『資料編 近世』は600頁を予定していますが、調査の過程で多くの良い資料が発見されました。出来るだけ多くの資料を資料編とDVDに収録したいと考えています。



令和5年9月9日（土）

第9回近現代部会を開催しました

第9回近現代部会では、主に資料編の編目構成案と附属するDVDの内容についての協議が行われました。

現在『新編遠野市史 資料編 近現代』に掲載する資料の選定と、編目構成を検討する作業が並行して行われており、会議では各委員から進捗状況や選定した資料の特徴、今後探したい資料などについて報告されました。

また今回、編目構成に「遠野の女性」という節が新たに追加されました。これは『新編遠野市史 現代編』で取り上げることができなかった項目であり、当時の女性の暮らしや活躍する姿を様々な資料から浮かび上がらせていくということです。

なお次回は、各委員から担当する分野の構想や核となる資料、今後の課題等を報告する調査報告会を開催することを申し合わせました。



▲近現代部会委員集合写真。今回リモート参加以外で、初めて全員が顔を揃えました。

会議の様子 ▶



市史編さん室では、古い時代の資料や館跡を調査しています。
古文書や古写真をお持ちの方は、ぜひ市史編さん室までご連絡ください。



新発見資料！遠野城絵図が遠野市に寄贈されました

令和5年9月20日(水)、県内在住の方から「遠野城絵図」が遠野市に寄贈されました。

「遠野城絵図」は江戸時代の鍋倉城を描いた絵図で、曲輪やその規模、土塁、井戸、石垣、門などが描かれています。さらに伊能嘉矩^{いのうかのり}によって付箋が貼られ、曲輪の名称などが書き込まれています。その付箋によると、宝永7年(1710)幕府の巡見使に対応するために作られた絵図とあり、江戸時代に遠野で製作された絵図であることがわかりました。巡見使とは諸国の政情や民情の視察にあたった江戸幕府の役人で、諸大名の領地を対象に派遣されたものを「諸国巡見使」といいます。寛永10年(1633)に

始まり、5代将軍綱吉の時から将軍の代替わりごとに派遣されました。ただし宝永7年に盛岡藩に派遣された巡見使は、遠野には立ち寄らず江戸に戻ってしまったようです。

これまで、鍋倉城を描いた絵図は遠野南部家所蔵のものが知られていましたが、この絵図は遠野南部家以外から新たに発見されたもので、鍋倉城の構造や変遷を知ることができる非常に貴重な絵図です。

絵図の発見と寄贈を記念し、令和5年10月10日(火)から10月22日(日)まで遠野市立博物館で特別公開されます。ぜひこの機会にご覧ください。



編集・発行 遠野市民センター市史編さん室

〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号(遠野市立図書館・博物館内)

TEL:0198-62-2340 FAX:0198-62-5758